

4 単元の配列例（第1・2学年 標準35時間 第3学年 標準17.5時間）

年間計画の作成に当たっては、3学年間を見通した全体的な年間計画を検討すること。その際、各項目に配当する時間数及び履修学年については、地域、学校、生徒の実態等に応じて適切に定めること。

(1) 年間計画例①

第1学年で「A 材料と加工の関する技術」と「D 情報の技術」の(1)(2)を履修させる例である。

学期		1 学期												2 学期												3 学期											
週		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	
1 学年	内容	ガイダンス		生活や社会を支える材料と加工の技術				材料と加工の技術による問題解決										評価活用				生活や社会を支える情報の技術				双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決											
	項目					A(1)アイ				A(2)アイ										A(3)アイ				D(1)アイ、D(2)アイ				D(2)アイ									
	時間数	2		5				13										2				4				9											
2 学年	内容	生活や社会を支えるエネルギー変換の技術						エネルギー変換の技術による問題解決																										評価活用			
	項目	C(1)アイ						C(2)アイ																										C(3)アイ			
	時間数	4						16																										2			
	内容	生活や社会を支える生物育成の技術								生物育成の技術による問題解決										評価活用																	
	項目	B(1)アイ								B(2)アイ										B(3)アイ																	
	時間数	4								7										2																	
3 学年	内容	計測・制御のプログラミングによる問題解決														評価活用																					
	項目	D(3)アイ、内(6)カ														D(4)アイ																					
	時間数	16														1.5																					
				指導時数		A		B		C		D		ガイダンス		合計																					
						20		13		22		30.5		2		87.5																					

(2) 年間計画例②

第2学年で、「B 生物育成の技術」、「C エネルギーの技術」「D情報の技術」の(2)を履修させる例である。

学期	1 学期												2 学期												3 学期												
週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35		
1 学年	内容	ガイダンス		生活や社会を支える材料と加工の技術				材料と加工の技術による問題解決										評価活用				生活を支えるエネルギー変換の技術				エネルギー変換の技術による問題解決											
	項目					A(1)アイ				A(2)アイ										A(3)アイ				C(1)アイ				C(2)アイ									
	時間数	2		5				17										2				4				5											
2 学年	内容	エネルギー変換の技術による問題解決										評価活用		生活や社会を支える情報の技術						双方向性のあるコンテンツのプログラミング																	
	項目	C(2)アイ										C(3)アイ		D(1)アイ、D(2)アイ						D(2)アイ																	
	時間数	8										2		5						6																	
3 学年	内容	生物育成の技術の原理・法則と仕組み										生物育成の技術による問題解決														評価活用											
	項目	B(1)アイ										B(2)アイ														B(3)アイ											
	時間数	5										7														2											
3 学年	内容	計測・制御のプログラミングによる問題解決										評価活用		まとめ		指導時数																					
	項目	D(3)アイ										D(4)アイ																									
	時間数	14										2		1.5																							
				A		B		C		D		ガイダンス まとめ		合計																							
				22		14		21		27		3.5		87.5																							

(3) 年間計画例③

第1学年で「B 生物育成の技術」、「D 情報に関する技術」を履修させる例である。

学期	1 学期	
----	------	--